

# 鉄板直撃、右足切断

「吊り下」には、絶対、絶対……入らないこと  
『逃げ場』の確保

敷き鉄板・資材の積み降し作業時  
ユニック作業に注意しましょう

ワイヤー、フック、シャツクルの安全点検

800キロの鉄板直撃  
男性社員が右足切断の大けが

鉄板が吊り具から外れ  
社員に直撃

2025/11/21(金) 16:18

大分県の土木工事会社で今年5月、50代の男性作業員が鉄板の直撃を受けて右足を切断する事故が発生しました。

これを受け労働基準監督署は21日、危険防止および違反行為防止の措置を怠ったとして、会社と男性社長を書類送検しました。

労働基準監督署によりますと、今年5月7日、土木工事会社で、社長がドラグ・ショベルを操作し、重さ約800キロの鉄板（3m×1.5m×0.02m）をダンプカーに積み込む作業を行っていた際、鉄板が吊り具から外れ、荷台で作業していた50代の男性社員に直撃しました。

この事故で男性社員は右足を切断する大けがをしました。